

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2022.10.16)

文・写真：武田、写真；黒山・湊

日時：2022(令和4)年 10月 16日(日) 9:30～15:30

気象：晴

活動エリア：45林班に

活動内容：地域環境保全(倒木処理、過密広葉樹除伐、ほか)

参加者(会員)：石原順子、猪川 誠、斧田一陽、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、竹歳三喜子、
春名浩一、湊 亮、宮本廣、兪 靖函

会員 11 名

<来年への準備も怠りなく>

何と言っても”お山は広い”。切り放し木が放置された斜面、また路網が判然とせず入り難いエリアなど、まだまだ未着手の森も多い。そろそろ**来年以降の段取りも考えなければ、**と言うことで、今日は二名が踏査に赴く。

一方、活動を支援する「大阪さとり地域協議会」の視察が近いことから、実査の候補地の整備も仕上げたい。七人は小屋の南、国有林の東端、未処理の倒木・枯木の処理、過密広葉樹の除伐など、林床を見映え良く(?)を眼目に林床整備に取り組む。例によって、チェーンソーが頼もしい一日。

(併せて、放置されたトタン板の片付けと路網の水切り構築も力仕事で)

(チェーンソー・メンテの作業台が必要、二名が物置小屋の脇に設置作業)

白山の夕焼(井上会員)



<今日の成果>

汗をかかないのは有難い。「奥山に声聞くときぞ」で鹿の啼く声も。面積的には 0.03ha を整備、倒木処理は 4～5 本、溝は 3ヶ所。今日の活動地は小屋から下るので、帰りは急坂。いつも「フーフー」と息切れ。

<写真>

【玉切りした倒木を棚に積む】



【片付けては前進】



<写真>

【向うの枯木も片付けよう】



【片づけた枯木】



【路端の広葉樹除伐中】



【水切り溝を築く】



【傾いた桜の木をロープで応急処置】



【新設 作業台の骨組み】

